

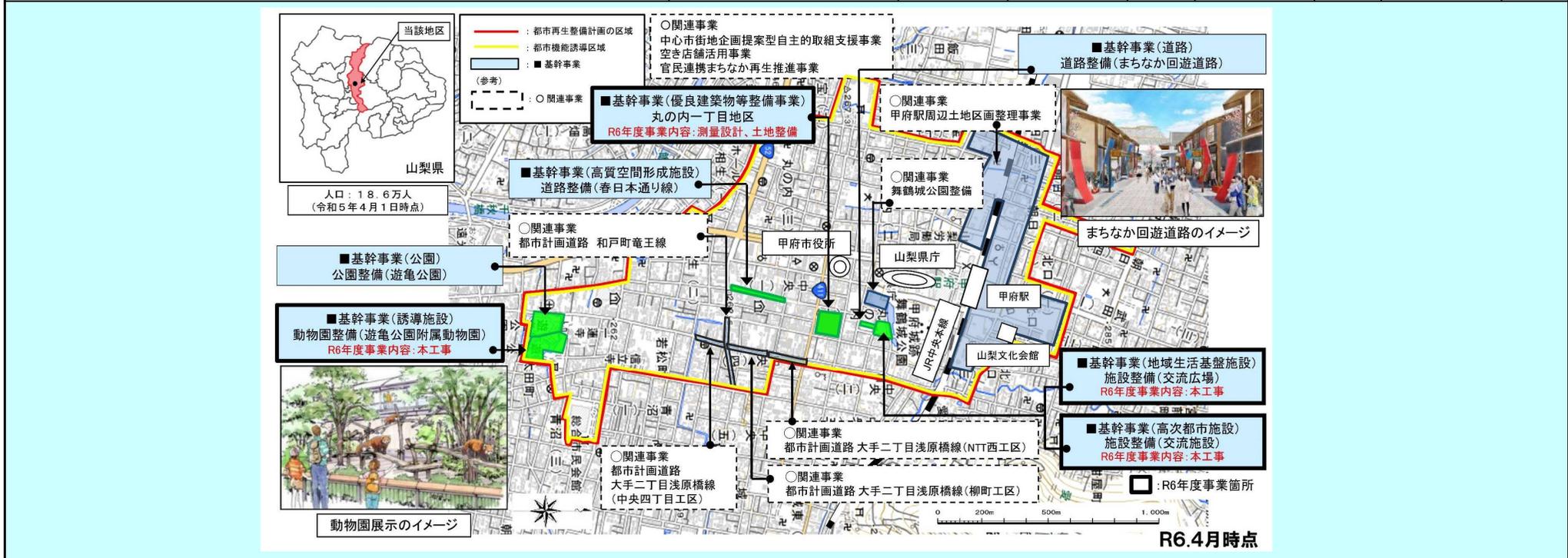
様式 2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山梨県		市町村名	甲府市		地区名	甲府駅周辺地区			面積	195.8		
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	4788.0百万円	国費率	0.5				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(まちなか回遊道路・道路整備 L=60m)、公園(遊亀公園・公園整備 A=1.53ha)、地域生活基盤施設(交流広場・交流広場整備A=1.440m2)、高質空間形成施設(春日本通り線・道路整備 L=230m)、高次都市施設(交流施設・交流施設整備 A=300m2)、誘導施設(遊亀公園附属動物園・動物園整備 A=1.38ha)										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
新たに追加した事業	基幹事業	優良建築物等整備事業(丸の内一丁目地区)			民間事業者による再開発計画が「都市の安全性の向上に資する老朽化した建築物の更新」や「地域商店街の振興・中心市街地の活性化・まちなかの再生」に寄与すると判断したため追加した。			優良建築物等整備事業に係る目標を定量化する指標を追加した。					
	提案事業	なし											
交付期間の変更	当初	令和2年度～令和6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	-											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
								モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	まちなかの歩行量	人	138,261	H29	133,000	R6	132,525	120,699	△	あり	新型コロナウイルスの影響による歩行者数の減少、県内唯一の百貨店の移転に伴う規模縮小に加え、事後評価の時点では基幹事業が工事中であり、効果発現に至っていない。しかしながら、工事完了後に目標達成を見込んでおり、第2期計画においても同様の指標を設定しフォローアップを行うこととする。	
	指標2	まちなかの満足度	ポイント	179	H30	210	R6	177	190	△	あり	事後評価の時点では基幹事業が工事中であり、効果発現に至っていない。ただし、満足度の上昇が見られることから、一定の評価はできる。	
	指標3	動物園の入園者数	人/年	123,741	H30	140,000 (210,000)	R6 (完成時 R10)	99,176	-	-	あり	動物福祉の観点から部分開園を取り止めたことにより、指標の計測ができなくなった。	令和11年度
指標4	地域防災性の向上	件	1	R4	0	R6	-	0	○	あり	要緊急安全確認大規模建築物を除去することで、地域防災性が向上する。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		遊亀公園におけるアクティビティの件数(都市公園内行為許可件数)	件	3	R1	/	-	12	/	/	遊亀公園の整備により、親子連れを中心に多くの市民で賑わい、様々なイベントが催されるなど、賑わい創出の元となるアクティビティの件数の増加が見られた。	
	その他の数値指標2												
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	優良建築物等整備事業を基幹事業に追加する際、都市再生整備計画事業等評価の手引きに沿ってモニタリングを実施し、甲府市公共事業評価委員会の評価を受けた。(令和4年11月)			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 計画期間終了後も必要に応じて指標を確認する。				
	官民連携による取組	甲府城交流施設整備に伴うサウンディング型市場調査			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● サウンディング型市場調査での意見も踏まえる中で、効率的な施設の運営・管理を行っていく。				
持続的なまちづくり体制の構築	官民連携まちなか再生推進事業			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 甲府まちなかエアプラットフォームを中心に、「甲府まちなか未来ビジョン2024(R6.3)」に掲げた将来像を目指し、官民の豊富なストックの活用によりエリア価値を高め、新たなライフスタイルの創出に向けた取組を行う。					

様式2-2 地区の概要

甲府駅周辺地区（山梨県甲府市） 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標：地域資源の魅力や回遊性の向上により、人々が集い、賑わいがあふれ、歩きたくなるまちなかへ再生する。 目標1：公共施設跡地等の有効活用による歴史が感じられ多様な交流を生み出す甲府の顔としての魅力の再生 目標2：賑わいの拠点をつなぐ回遊ルートの整備によるまちなかの活力の再生 目標3：子育て支援及び環境教育の場のリニューアルによるふれあいと賑わいの再生	まちなかの歩行量	単位：人	138,261 H29	133,000 R6	120,699 R6
	まちなかの満足度	単位：ポイント	179 H30	210 R6	190 R6
	動物園の入園者数	単位：人/年	123,741 H30	140,000 (210,000) R6 (完成時 R10)	—
	地域防災性の向上	単位：件	1 R4	0 R6	0 R7



まちの課題の変化

- ・甲府城周辺整備(まちなか回遊道路、高次都市施設・地域生活基盤施設)に伴い、周辺エリアの店舗立地が進み、まちなかの賑わいが創出されている。
- ・春日本通り線の整備が進み、回遊ネットワークの強化が図られている。また、まちなか回遊道路の整備に伴い、沿線の店舗立地が進み、快適な回遊空間が形成されつつある。
- ・遊亀公園の整備が一部完了し、子育て支援機能の充実が図られた。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・本計画により整備した施設について、地域住民や来訪者の利活用を推進する取組を行うとともに、利用しやすい環境、サービス提供に向けた管理運営を行う。
- ・優良建築物等整備事業を推進することで、市街地環境の整備改善や良好な市街地住宅を供給することで、まちなか居住を促進する。
- ・遊亀公園附属動物園の整備を進め、子育て支援機能、環境教育機能の更なる充実を図る。
- ・甲府城周辺や遊亀公園附属動物園といった拠点とまちなかとの回遊性を高めるため、更なる高質空間形成施設の整備を進める。